

2021/5/3

(うと〇世話し オマケの英語教室 charming)



自分の限られた印象ですが、外国の女性に昼間、自分がしらふの時に褒め言葉で「you are beautiful」とか「you are pretty」と言くと、相手は喜びながらも、ちょっと「身構える」仕事をされる様な気がします。

反対に「you are charming」とか「you are lovely」とも、直裁に言くと「oh, you are cute」とか「sexy」というと、これはもう完全に相好を崩して喜んでる気がします。

我が国でも、よく観察すると同様の傾向があるのですが、後者の言葉は余程相手と親しくなっているからでないと使えません。白昼しらふの時に言う事など、まずないでしょう。仮に言ったとすると

「何、この人、私の事、軽く見てんの？」

と思われて、却って心証を害します。

ですので、我が国で昼間、しらふの時に言えるのはせいぜい前者の

「美人ですねぇ」か「お綺麗ですね」

位でしょう。

我が国でも外国でもそうですが「美人」(beautiful)や「綺麗」(pretty)を使う時には、イメージとして「整っている」「様式にかなっている」「乱れがない」等の言葉を連想します。

逆に「カワイイ」(lovely)とか「イカシてる」(cute)や「いっぺええ」(sexy)は、どちらかというと「くだけている」か「ゆるい」感じがします。

それはさておき、このどちらかというと幾分「崩れていて」「隙だらけ」の言葉の中の charming(日本語でもチャーミング)ですが、是を和訳するのにハタと困ってしまいました。

おそらく先代の翻訳者も訳しきれずに charming は日本語のカタカナで「チャームリング」と表記するに留めたのではないでしょうか。

そこで今回、自分は足腰の過労で動けない事もあって、この和訳に挑戦してみようと思いいちました。

要するに「暇つぶし」です。

まず、charming の語幹になっている「charm」とは「御守り」の事です。英語では他に「amulet」とも言います。神社で売っているのは、どちらかというと「amulet」(護符)の色彩が濃い様です。

さて、それでは問題の「charm」

これを amulet (護符) の「護」と比較して charm (御守) の「守」と漢字一字同士に簡略化して見比べてみると、何となくある想像が生まれました。

曰く

Amulet は「護摩炊き」に見られる様に「魔除け」即ち災厄退散の「御札」で、何となく自分から離して上に飾っておく物。

一方 charm の方は、所謂「お守り」で肌身離さず身につけておく物。という区分けが出来そうです。

なので、charming とは「身近にいて包み込んでくれる物」の現在進行-ing「お守り携行」の事なのではないかな、と。

だとすれば charm point の原義は

他の人から自分を差別化して「守ってくれる売りの point」となります。

この、自分にとっては「お守り」

相手からするとそれが「魅力的」(attractive)に見えると言う事で、ありふれた言葉になります。

「魅力的な」「華のある」「心惹かれる」

という和訳になりました。

因みに上述の attractive の名詞形 attraction の訳は「見せ物」ではなく「魅せ物」が正しい様な。

で、元々は自分の「お守り」が相手には「魅せもの」になり、

「you are so charming」(君、なかなか「吸引力」あるね)

無理がある、かな？